

見よ、わたしの選んだ僕。
わたしの心に適った愛する者。
この僕にわたしの霊を授ける。
マタイ12章18節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木 博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



9月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：神の言葉がよりよく知られるように
- ②宣教の意向：ラオス、カンボジア、ミャンマーのキリスト者
- ③日本教会の意向：誘拐された人々の解放

平和行進に先立つ3者による平和アピール

へる悲しみと陳謝を伝えた。写真左は、共に来日した米国ジョアン・クロック平和研究所所長ウィリアム・ヘッドリー神父。わたしは、わたしたちの国が皆さんの同胞、兄弟姉妹たちに想像を絶する痛みを与えたことについて、皆さんのゆるしをここに切に願うものです。(略)わたしたちは被爆者の方々の兄弟姉妹として、被爆された苦しみを分かち合い、何十万もの失われたいのちを悼みます。(略)わたしたちは広島、長崎原爆投下64周年のこの年を喪に服する日々としてささげたい。被爆から生き残られた方々が、人類家族全員のよりよい善のためという新しい精神で戦禍から立ち上がり生き抜いてこれ



痛みを与えたことにゆるしを願う
ロバート・クッシング神父



ロザリオを唱え行列するローザリオン枢機卿と高見大司教

長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会主催の今年の平和祈願祭は、平和公園から式典を開始し、たまたつ行列で浦上教会へと行進し、教会内で平和のためのミサをささげた。午後6時45分、浦上教会の鐘を合図に、高見三司大司教が祈りで会衆を招き、来日した代表3者が平和アピール(一面左に掲載)を行った。平和アピールに力を得た会衆は、たまたつを手に、浦上教会

平和をもたらしすために 長崎・佐世保で祈願祭

今年も平和を願い、長崎で8月9日、佐世保で8月15日に平和祈願祭が開催された。長崎では、海外から来日していた3者の平和アピールに耳を傾けたいまつ行列の後、浦上教会でミサがささげられた。佐世保ではアルカスSASEBOでミサをささげ、平和への具体的な行動を確認し合った。

教区主催平和祈願祭

8月9日、長崎は64回目の原爆の日を迎えた。

へと祈りの行進を続けた。今年のテーマは「平和を願い、共に歌い・祈ろう」。誰もができる方法で、着実に平和のために動き出すとの思いを胸に、



マリアもへばり、被爆浦上教会

ミサの説教で高見大司教は、この日の意義を次のように語った。「わたしたちがたいまつ行列で手にしたともしびは、原爆で犠牲になった人々の命、わたしたちの祈り、そして何よりも、光であるキリストを象徴しています。キリストはまことの光、罪と死の闇を滅ぼし、わたしたちを解放してくださった光です。わたしたちはこの光であるキリストに祈るために、原爆64年目の今日、ここに集まりました」。

また、教皇庁諸宗教対話評議会議長ジャン・ルイ・トラン枢機卿はミサの終わりに共に祈ることができたことの感謝を述べ、この日の感動を教皇さまに伝えると約束し、ミサの参列者一同が喜びに満たされた。

核兵器の製造に反対します

代読者 崔玉植氏

韓国、島根県三刀屋、長崎3つの如己の会を代表して、韓国如己の会総裁李文熙・大邱教区前司教が同席し、会のメッセージを崔玉植氏が代読した。



李 大司教



崔 氏

はならないことです。それにもかかわらず最近の連続の核実験は世界を緊張させました。わたしたちはこれに断固として反対いたします。(略)しごく当然

佐世保地区平和祈願祭

今年も終戦記念日であり聖母の被昇天を祝う8月15日(土)に、アルカスSASEBOで佐世保地区評議会主催の「聖母



祈願祭

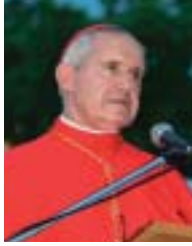
創えを満たされた奇跡を取り上げて、同じように「イエスは、一見何の力もないかに思えるこの小さなわたしたちの集まりを祝福されて、大きなことを成し遂げてくださるという揺るぎない希望を持つて」祈りをささげるよう呼び掛けた。



平和祈願祭が行われ、約800人の信徒が聖母を通し平和を願う熱い祈りをささげた。

平和の神に回心の恵み願う

ジャン・ルイ・トラン枢機卿



枢機卿は、長崎の体験は和解への「新たな出発点」となりうると語った。

「新しい心」は、一人ひとりの人を兄弟姉妹と認め、促進すべき基本的な権利と、満たすべき正当な希望を持つことです。新しい心は、他の人また民族を、受け入れ、支え、愛すべき、生きた存在と考えます。わたしたちはこの夕べ、たいまつを持ってここに集まりました。それは、平和のため、また、あらゆる暴力・戦争行為の犠牲となった人々のために祈るためです。(略)わたしたちは、平和の神がすべての人に回心のたまものを与えてくださるよう祈り求めます。心の回心こそが、あらゆる真の和解をもたらす、尊い永続的な平和を強めるために不可欠な条件だからです。(全文は長崎大司教区ホームページに掲載)

ら武器を取ります。しかし、これでは決して平和は実現しません」と訴えた。

また、イエスがたどられた平和への道は、ゆるし合うこと、愛し合うこと、わたしたちはもう一度しっかりと心に銘記し、平和について考えるだけではなく、実行しなければならぬと論じた。

聖公会大主教が来崎

9月23日、日本聖公会宣教150周年記念礼拝が、英カンタベリーのローワン・ウィリアムズ大主教参列のもと東京・関口教会で行われる。大主教は24、25日に長崎を訪れる。24日のテーマとして、聖公会九州教

日本二十六聖人殉教者に関連する標語を募集します

長崎南地区評議会では来年2月7日(日)の「日本二十六聖人殉教記念ミサ」において、毎年開かれるこの行事にふさわしい標語の横断幕を掲げることになりました。その標語を、一般に広く関心を持っていただく機会とし公募します。どうぞふるってご応募ください。

1. 規定文字数 15文字程度
2. 設置場所 日本二十六聖人記念館 2階(建物の外壁に横断幕掲示)
※横断幕のサイズは縦約2.5m×横約16m。長崎教区の公式シンボルマークおよび標語など掲載予定。
3. 応募方法 はがきに「標語・教会名・住所・氏名・年齢」をご記入の上、下記へ郵送ください。
4. 締め切り 2009年10月末日(必着)
5. 選考 標語は1点選考し、発表は教区報「よきおとずれ」紙面に。 ※採用分には、記念品を贈呈します。
6. 応募・問い合わせ先 〒850-0055 長崎市中町1-13 カトリック中町教会 気付長崎南地区評議会 日本二十六聖人殉教記念ミサ 標語係 (TEL) 095-823-2484

ほしめ

今月、散らかっている机の隅にさらにコーヒークップを置いて「ほしめ」を書いていた。あー疲れたと声を出しつつ背伸びをした時、うっかり足で机を蹴つてしまい、コーヒークップが映画のスローモーションのように床に落ちた瞬間、「あーしまった!」これでコーヒークップ1個失った!と思った。ところが、キーンと音を立てたカップは予想に反して砕けず、ひびが入ってはいったものの今回も割れずに済んだ。恥ずかしいことに、同じことを以前にもしており、机から落としたのは今度で2回目だった▼実は、このカップは、とある教会の新築落成式の引き出物としてもらった有田焼のものである。幸いに割れずに済んだカップをしげしげと眺めて、こう思った。「本物はまがい物とは決定的に違いがあるのだなあ」似たような焼き物がどれだけ並んでいても同じ過酷な環境で割れない本物はいくつもないに違いない▼8月15日、聖母被昇天の祭日にふだんより多くの信徒がミサに参加していた。きつと里帰りや、墓参りに来てこの日のミサに参加していたのだらう。ひととき背の高い、面倒くさそうに立っている好青年たちの顔ぶれを見ながら、「本物の信仰は、どんな環境で突き落とされても割れたり砕けたりしないのだな」という確信を持った問題は彼らがいづ、どうしたら「面倒だなあ」と思わなくなるか、である。

人事異動・任命

▼神言修道会(7月15日着任)
ロボ・フェリックス師 西町教会助任(秋田教会助任)

ヨハネ・パウロ2世教皇さまが長崎を訪問されたのは今から28年前(1981年)の2月25日でした。教皇さまは浦上教会で司祭叙階ミサを、翌26日には5万人が集まった松山陸上競技場で野外ミサを司式されました。

ヨハネ・パウロ2世教皇さまが長崎を訪問されたのは今から28年前(1981年)の2月25日でした。教皇さまは浦上教会で司祭叙階ミサを、翌26日には5万人が集まった松山陸上競技場で野外ミサを司式されました。

ヨハネ・パウロ2世教皇さまが長崎を訪問されたのは今から28年前(1981年)の2月25日でした。教皇さまは浦上教会で司祭叙階ミサを、翌26日には5万人が集まった松山陸上競技場で野外ミサを司式されました。

司祭年 連載企画

「司祭が司祭であるために」③

恩に報いるために

山脇 守



現在、わたしは小教区での司牧を離れて、神学生の養成に携わっています。神学生たち

います。

教皇さまの長崎訪問の後間もなく、わたしは浦上教会で助祭叙階を受けました。司祭まであと1年。その時、わたしは自分の力で簡単に司祭にたどり着けると思ひこんでいました。ところが、思

んたちは快く引き受けてくださり、その結果、わたしは1日中祈っていたことに気づきました。

司祭に叙階された翌日から、祈つてくださった病人さんを数人ずつ訪問し、司祭叙階の報告とこ

れまでの祈りへの感謝を述べると、病人さんたちはみんな喜んでくれました。しかし、中には祈

て間もなく身体に異常を来し、病院に通うようになったのです。喜んで助

祭になり、司祭への思いも強く持っていたつもりでしたが、病気がちにな

ったわたしは次第に自信をなくし始めていました。そんなわたしのことを

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。

この危機を打開するため、あらためて召命の祈りをみなさんにお願ひいたします。

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。

この危機を打開するため、あらためて召命の祈りをみなさんにお願ひいたします。

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。

この危機を打開するため、あらためて召命の祈りをみなさんにお願ひいたします。

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。

この危機を打開するため、あらためて召命の祈りをみなさんにお願ひいたします。

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。

この危機を打開するため、あらためて召命の祈りをみなさんにお願ひいたします。

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。

この危機を打開するため、あらためて召命の祈りをみなさんにお願ひいたします。

亡くなった方々のことを祈りをみなさんにお願ひいたします。



2008年度決算に関する報告-②

前号に引き続き収支決算書の報告を掲載する。2008年度から「小教区収支決算書」を信徒の皆さまにお知らせすることになった。2008年度は、長崎教区71小教区をまとめたものを掲載している。2009年度以降は、神父さま方や信徒の皆さまのご理解をたまわって、随時地区ごとの集計、最終的には、71小教区ごとの収支決算書を掲載することができればと考えている。

セラピヤ

山口チギエ修道女 (長崎純心聖母会)



7月20日、聖フランシスコ病院にて心不全のため帰天。93歳。1916年長崎市生まれ。41年初誓願、51年終生誓願。戦争をはさんでの厳しい中、会の草創期を担う1人として奉獻生活をまとうした。葬儀ミサ・告別式は7月22日、本部にて行われた。

小教区決算集計表

科	目	総合計
教会維持費		421,566,678
ミサ献金		129,062,136
ミサ奉納金		174,336,710
祭儀献金		42,982,805
その他の献金		15,745,950
(1) 献金収入計		783,694,279
一般寄付金		22,172,026
指定寄付金		8,457,859
司祭寄付金		13,342,765
修道会寄付金		677,000
その他の寄付金		8,615,318
(2) 寄付金収入計		53,264,968
観光収入		0
教区補助金収入		15,171,000
受取利息収入		797,835
墓地納骨堂管理費収入		12,814,112
行事収入		4,472,550
非課税事業収入		2,121,700
雑収入		31,858,106
(3) その他収入計		67,235,303
教区費		131,058,612
神学生養成援助費(封筒)		12,457,247
児童福祉の日献金		2,421,568
世界広報の日献金		2,847,507
聖ペトロ聖母への献金		2,869,384
世界難民移住移動者の日献金		2,747,341
世界宣教の日献金		2,664,699
宣教地司教育成の日献金		2,737,253
特別献金		9,170,266
預り金		3,013,186
一菜募金		612,350
クリスマス募金		319,264
カリタスジャパン募金		444,410
その他の募金		562,082
(4) 預り金収入計		173,925,169
経常収入合計(1)~(4)		1,078,119,719

科	目	総合計
内部借入金収入		0
外部借入金収入		3,000,000
特別目的預金取崩収入		79,160,351
境内地拡張費積立金収入		8,227,164

境内建物建設増改築費積立金収入	142,933,451
土地売却代金収入	0
修理費積立金収入	24,631,393
雑収入	5,062,402
重文防災施設工事補助金	0
財務収入合計	263,014,761
収入合計(経常収入+財務収入)(a)	1,341,134,480
前年度繰越金(b)	655,619,106
収入総計(a)+(b)	1,996,753,586

科	目	総合計
祭儀費		45,261,102
教化費		20,296,591
教育養成費		29,240,332
図書費		7,714,437
出版刊行費		9,983,409
行事費		35,412,355
負担金		11,473,952
維持管理費		37,339,524
備品修繕費		19,281,160
保守管理費		12,051,557
墓地管理費		6,867,234
保険料		25,234,116
給与手当		244,512,708
雑給与		23,040,300
退職金		670,000
福利厚生費		14,188,889
法定福利費		7,079,340
会議費		4,649,809
消耗品費		17,716,818
器具備品費		13,211,156
リース料		11,981,833
通信費		11,833,698
旅費交通費		13,892,373
自動車諸費		23,609,557
水道光熱費		68,803,661
接待交際費		16,994,815
公租公課		878,453
支払利息		240,000
補助金支出		20,657,334
支払手数料		53,645
非課税事業支出		3,461,327
雑費		17,809,215
司祭活動費補助		3,858,900
長崎南山第2学園援助費		3,000,000

修道院献金	1,680,000
小計I	783,979,600

科	目	総合計
教区費		129,974,422
神学生養成援助費(封筒)		12,514,057
児童福祉の日献金		2,462,151
世界広報の日献金		2,862,850
聖ペトロ聖母への献金		2,876,065
世界難民移住移動者の日献金		2,752,503
世界宣教の日献金		2,681,019
宣教地司教育成の日献金		2,719,409
特別献金		15,316,723
預り金		3,116,096
一菜募金		370,310
クリスマス募金		319,804
カリタスジャパン募金		471,070
その他の募金		1,100,222
予備費		3,378,517
寄付(江袋・皆瀬)		0
小計II		182,915,218
経常支出合計III(I+II)		966,894,818

科	目	総合計
内部借入金返済支出		25,004,000
外部借入金返済支出		11,147,762
土地取得支出		6,069,002
建物取得支出		197,368,055
構築物購入支出		6,210,000
器具備品購入支出		4,461,962
特別目的預金積立支出		141,741,683
小教区25周年準備積立金		50,000
建物増改築費		8,541,663
教会修理費		300,000
財務支出合計IV		400,894,127
支出合計(III+IV)		1,367,788,945
次年度繰越		628,964,641
支出総計		1,996,753,586

所帯数	18,483
①維持費/所帯数/月	1,901
②教区費/所帯数/月	591
③教区費/維持費(%)	31
④ミサ奉納金/所帯数/年	6,439
⑤ミサ献金/所帯数/月	582

主の平安

五島中央会館 五島式典社(斎場) 代表取締役 ヨゼフ 浦 昭

24時間営業

五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551 FAX (0959) 74-5552

五島市奈留町 1899-1 TEL (0959) 64-3101 FAX (0959) 64-3102

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口美義

〒858-0926 佐世保市大湯町586

TEL (0956) 47-4380

天使の手のひら Angel Palm エンジェル パーム

心と体のために...

アロマサウナ(背中・足・腕・手・顔・首・顔) 手作り美容クリーム・ベビーアロマ指導 etc...

住所: 西彼杵郡長与町高田郷1260-14

TEL: 090-5297-9304 完全予約制 テレジア 毎熊美香

長崎原爆の日 被爆64年

トーラン枢機卿参列(落下中心地) 原爆殉難者慰霊祭



第37回「原爆殉難者慰霊祭」は8月8日午後7時から長崎原爆落下中心地公園で行われた。長崎県宗教者懇話会主催、長崎県民明く社会づくり運動推進協議会の主管。慰霊祭は献水・清めの儀、新宗連長崎県協議会の青年が平和の灯をともし、

デスコト国連総会議長 26聖人記念館など訪問



長崎原爆の日を前に8月8日、10日長崎市で開ル宣教会司祭、現在秘跡

した後、県宗教者懇話会の細江梯嗣(くろそうていじ)氏の慰霊のことば。次いで来賓の教皇庁諸宗教対話評議会議長トーラン枢機卿は「兄弟愛に満ちた世界を築くために、働き、苦しみ、命をささげるすべての人をみ心にとめてください」と祈りをささげた。長崎カトリック合唱団、ルンビニーコーラス、PLEコーラスの3団体で賛歌を合唱した。県宗教者懇話会は前日7日も長崎市内でトーラン枢機卿歓迎行事を主催。枢機卿は「カトリック教会の諸宗教対話について」講演を行った。



デスコト議長 トーラン枢機卿

平和祈念式典 田上市長 平和宣言



平和公園

長崎市松山町の平和公園で行われた原爆犠牲者慰霊平和祈念式典は8月9日10時40分開式、被爆者や遺族、市民らが参列し、



被爆者代表・奥村アヤ子さん

原爆犠牲者慰霊

慰霊のためのミサと 平和を願うコンサート

浦上教会、信徒会館

9日、浦上教会では原爆犠牲者慰霊のためのミサが、小島栄主任神父主司式により早朝6時と11時02分に合わせ行われ、多くの参列者が犠牲者のめい福をともし祈った。また、午後からは長崎平和を願うコンサート(同実行委員会主催)が、教区正義と平和推進部会(紙崎新一担当司祭)の協力のもと同教会信徒会館で開かれ、深堀教会信徒他(朗読、写真、深堀教会聖歌隊、合唱団記念



純心学園墓前祭

9日8時半、長崎市文教町の純心中・女子高校で純女学徒隊原爆殉難者慰霊祭が、遺族・生徒・教職員関係者ら参列のもと行われた。聖堂での慰霊ミサで、中浜敬司神父(カトリックセンター)は「皆平和を心から望んでいるが、平和や愛の考え方は必ずしも同じではない」と触れ、「相手に対する深い尊敬と傷ついた心への配慮を忘れてはいけない」と語った。続いて慈悲の聖母像前で墓前祭があり、生徒代表加藤菜々さん(中3)が慰霊のことばを述べ、平和への誓いを新たにした。

広島 平和学習



8月5日、教区福音化推進部主催、正義と平和推進部協力による「広島平和記念聖堂」訪問など。同教会では広島教区の平和行事プログラムが行われていて、多数が参加していた。夕方は全国から集まったキリスト者、平和記念公園供養塔から戦時教会までの約3キロを「キリストの平和」をアピールしながら平和をつくる決意を新たにしました。平和祈願ミサは、三末篤実広島司教主司式のもと日本聖公会の主教・司祭らも合同で、約85人の司祭団でささげられた。この日広島を訪れた教皇庁のトーラン枢機卿は「平和は神から与えられるたまものであると同時に、わたしたちが努力して生み出すものでもあります」と語った。



現地高校生ボランティアがガイド(幟町教会)

6日朝8時、幟町教会での「原爆犠牲者およびすべての戦争犠牲者追悼ミサ」に皆で参列し、原爆投下時刻に黙とうをささげる。一行はそれぞれ広島市平和関連行事に参加したり、山口のザビエル記念教会を訪ねたりして帰郷した。参加した高校生らは、「よい体験だった。戦争について考え、世界平和につながるよう皆で仲良くしていきたい」と話していた。

平和を祈る音楽朗読会(城山) 平和市長会議閉会式にも招かれる



マリアの丘から愛を込めて「平和を祈る音楽朗読会」子どもたちと共に8月8日城山教会で行われた。朗読は「かよこ様」。ながさき「水の会」音楽・ピアノ田中伸也。原爆で失った1人娘かよこさんから女学生の魂を慰めるため、かよこさんの母親が平和の願いを託し、桜の木を植えるという作品。その他「ホテル帰る」東京「水の会」、「私の独立記念日」今井登茂子の朗読があった。合唱は聖マリア学院音楽クラブS.C.O.R.E.(指導田中伸也、田代美穂子)。

聖書愛読マラソンに挑戦しよう

「聖書愛読マラソン」事業、03年度から始まったが、09年度からは長崎教区評議会と聖書愛読マラソン大会実行委員会が協賛、下記のような努力目標を掲げて取り組む。
①08年に開催されたシノドス(世界代表司教会議)のメッセージを十分に読み味わい、分かち合う。
②自分の聖書を持ち、毎日読んで、神のメッセージを自分の生活に活かしていこう。
③小共同体の中で神のみことばを分かち合う。

今年度の計画予定

- 長崎北・中・南、佐世保、平戸、上五島、下五島の7地区それぞれの小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選択し、期間内に読み進めていく。
- 1、マラソン開会式 10月4日(日)午後2時30分 大司教館。7地区の代表者に渡す聖書の授与式。
 - 2、中間報告 12月13日(日)午後1時
 - 3、完走連絡 2010年3月21日(日)までに報告書提出。
 - 4、完走報告会 同3月28日(日)。

実施要領

- 目的 それぞれの小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選んで読むことにより「聖書」に親しむ。
- 期間 2009年10月4日(日)～2010年3月14日(日)
- 方法 マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ四福音書を7地区評議会で話し合い、それぞれの小教区が「聖書の四福音書」の一福音書を選択し読み進める。実行委員会(案)①教会共同体として ミサ参加者全員で読む。CD、録音テープの活用。②家庭中心に 班を回す。班長を回す(個人の聖書を使用する)③グループ中心に 壮年会、婦人会、各委員会④個人として マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ四福音書を通読する。参加者は申込書(小教区に配布)に記入し、マラソン実行委員会に送付。通読した場合は、完走連絡書を送付ください。
- 進め方 朗読の方法や仕方は各地区評議会で決めていただく。

前回の第6回聖書愛読マラソン大会の実績

参加=125人(信徒75、修道女50)地区別参加=長崎北8、南9、中21、佐世保6、平戸12、上五島6、下五島6、修道会50、教区外7。最年少者20代3、最高齢者80代8。計6回の総参加者数2,197人、完走者総数1,139人、完走率51.8%。

「フレイフレイこども!」 召命フェスティバル

8月10日、平戸文化センターにおいて、教区召命促進委員会(川内和則委員長、長主権による第4回召命フェスティバルが開かれた。長崎教区の38小教区から全体では550人を超える大きな集



いとなった。午前中の召命祈願ミサ

では、先人たちの信仰から、目標や夢を持つこと、それをかなえるために仲間が必要なが説かれ、「神父さま、シスターになってください。仲間になってください」と熱く子どもたちに訴えられた。このミサの献金は3年後に献堂100周年を迎える山田教会(中島誠志主任神父)のためにささげられた。

午後からは歓迎セレモニー、シスター方による出しもの、神学生紹介などが行われ、司祭からは「司祭の心」の歌と「フレイフレイこども!」のエアールが送られた。

その後、ミニ巡礼、班互に開催されている平和市長会議総会、10日の閉会式にも招かれ、長崎ブリックホールで公演した。

カトリック医療団体協

「人に仕える医療」掲げ 長崎で第1回全国大会

10月23・24日

昨年、司教協議会の公認団体となった「日本カトリック医療団体協議会(医師会・医療施設・看護)」は10月23、24日の2日間、長崎市南手町、全日空ホテルグランドヒルで「人に仕える医療」をテーマに第1回全国大会を開催する。250人が参加予定。23日 医療団体協議会議長石島武一氏、聖フランシスコ病院院長大曲武征氏、高見三司大司教ら3人のあいさつの後、「美しい死」の著者「一人の病理医が考えた『いのち』とは？」森 亘・東京大学医学部名誉教授の基調講演。

講演Ⅰ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長・山下俊一氏の「原発被災と世界の被ばく医療」、「終末期医療の倫理」をテーマにしたシンポジウム。医師、看護師、

白濱信・平戸市長 今期限りで退く



平戸市の白濱 信市長(70)は今限りで10月の市長選には出馬しないことを表明した。

白濱市長は県秘書課長、県北振興局長などを経て96年の平戸市長選で当選、04年に3選。05年旧田平町、生月、大島村の合併による新しい市長選で初当選している。平戸ザビエル記念教会信徒。平戸市の市長選は10月18日。

みことばにふれて⁵⁶ 早岐教会学校スタッフ

毎年夏休みには、それぞれの地区で小学生による球技大会が行われています。佐世保地区でも人数が多い教会は2、3チーム、わが早岐教会のように子どもの数が少ない教会は、小学1年生のちびっ子まで総動員してどうにか1チーム組んで出場します。

数年前のことですが、その球技大会でとても心に残る出来事がありました。それはすべての試合が終わった後、熱戦を戦った子どもたちは全員体育館の掃除、保護者もお弁当や飲み物、シーートの片付け

をしていた時のこと、ある教会の保護者の方が持て来られていた麦茶などを入れる大きめのポットが倒れ、わたしはすぐ



「どうきんを取ってこなきゃ」と走り出そうとしていた時、保護者数人の方が、自分の首にかけていたタオルで床をふき始めら

文化庁派遣芸術家在外研修員 立石さん選ばれスペインへ

長崎県美術館でこの7月開催された第17回長崎二紀紀平和賞を受賞した長崎市長立石さん(29、城山教会)が2009年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、9月1日、スペインに発つ。派遣期間は1年。

立石さんの長崎二紀紀展受賞の題名は「キッチン」。会場にはキッチンなどの同名でS50号を受賞した。何の躊躇もなく手近にある自分の物を使い、床をふいておられるお母さん方を見て、自分の物を差し出そうとしなかった自分自身がとても恥ずかしくなりました。その横を「あら大変ねえ」と言いながら通り過ぎて行く方も...



南アフリカでの「ナガサキ・デイ」延期

8月9日南アフリカ・ケープタウン市で開催予定だった「ナガサキ・デイ」は「オラトリオ・ナガサキ」の作曲家アルフ

ソシヤルワーカー、法学部教授、司祭(牧山強美神学院院长)らがそれぞれの立場から発言。日本カトリック神学院の助祭らも聴講の予定。夕刻からの大会ミサは国宝大浦天主堂。

24日 ミサ 講演Ⅱ 横浜教区司祭・山口道孝

師の「アジアの貧困、抑圧に苦しむ人々について」。実践報告①「小さな人々と歩みながら路上の人、病める人と共に」瑞光のほり灸院長・加藤弘美氏。実践報告②「看取りの中のいのち」腎不全看護からの学びと体験」日本カトリック

看護協会長崎支部会員・酒井孝子氏。講演Ⅲ「『このとり』のゆりかご」が教えるもの」慈恵病院理事長・蓮田太二氏。

2日間の大会後は海外大村、上五島など希望者の巡礼が組まれている。

不登校について考える(全3回)

最終回 希望

不登校・ニート・引きこもりなどは心優しい子どもが自己表現です。不登校などとはせずに治る特効薬はありません。自立したくてもできない心の姿です。親の過干渉が子どもの自立を妨げます。子どもの年齢に合った親子関係をつくり、思春期には親離れ子離れができるように子どもの自立を促すことに力を注い



なものである。不登校の間、生活の中にあることを教えてくれた」と話された。子どもが回復するとき、

ださい。不登校の間に力をためておくのでしよう。元気になった子どもを見ていると、どこにそんな力が秘められていたのか、不思議でならない。元気に回復していくと家族全員が元気になる、明るく過ごしている家庭がたくさんある。

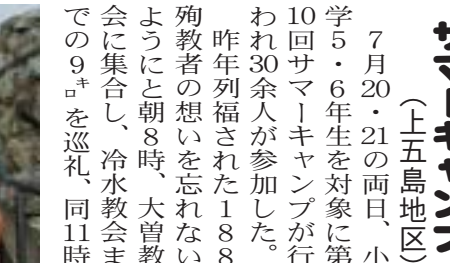
問題を抱えたときは、否認をせずに事実をそのまま受けとめてください。そして、子どもの言葉をそのまま受けとめてください。経験は人を必ず成長させます。

若者自立支援 ドリームカムホーム主宰 川井 健蔵

ドンデビーの熱戦 長崎地区 子どもスポーツ



サマーカーン (上五島地区)



開会式に召命祈願ミサを行った。

試合は5コートに分かれての予選リーグ。勝ち残った8チームで決勝トーナメント戦。決勝進出をかけて男女混合チームで争うため好ゲームが多く、わずかな差で勝ったチーム、負けたチームがあり、子ども、保護者ともに大変盛り上がった。

結果は優勝 植松教会(写真)、準優勝 浦上教会、3位 深堀教会。関係者は「この機会を通して、子どもたちは互いの絆を深め、仲間と相手を大切にする心、神さまの気持ちに素直に受け入れる心を培ってくれたと思います」。

ともに大変盛り上がった。結果は優勝 植松教会(写真)、準優勝 浦上教会、3位 深堀教会。関係者は「この機会を通して、子どもたちは互いの絆を深め、仲間と相手を大切にする心、神さまの気持ちに素直に受け入れる心を培ってくれたと思います」。

(医) 外尾内科医院

院長 ヘトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

平成22年度 園児・児童・生徒募集

Love to learn and Learn to love

第1回 小中オープンスクール
平成21年9月19日(土)
9:55~11:35
公開授業(給食も無料)
11:45~12:25
学校説明会
12:35~
給食試食会(無料)
幼稚園オープンスクール
平成21年10月16日(金)
園公開・入園説明会

幼稚園 TEL 844-2667
小中学校 TEL 844-1549
http://www.1.cncm.ne.jp/%7Est-maria/